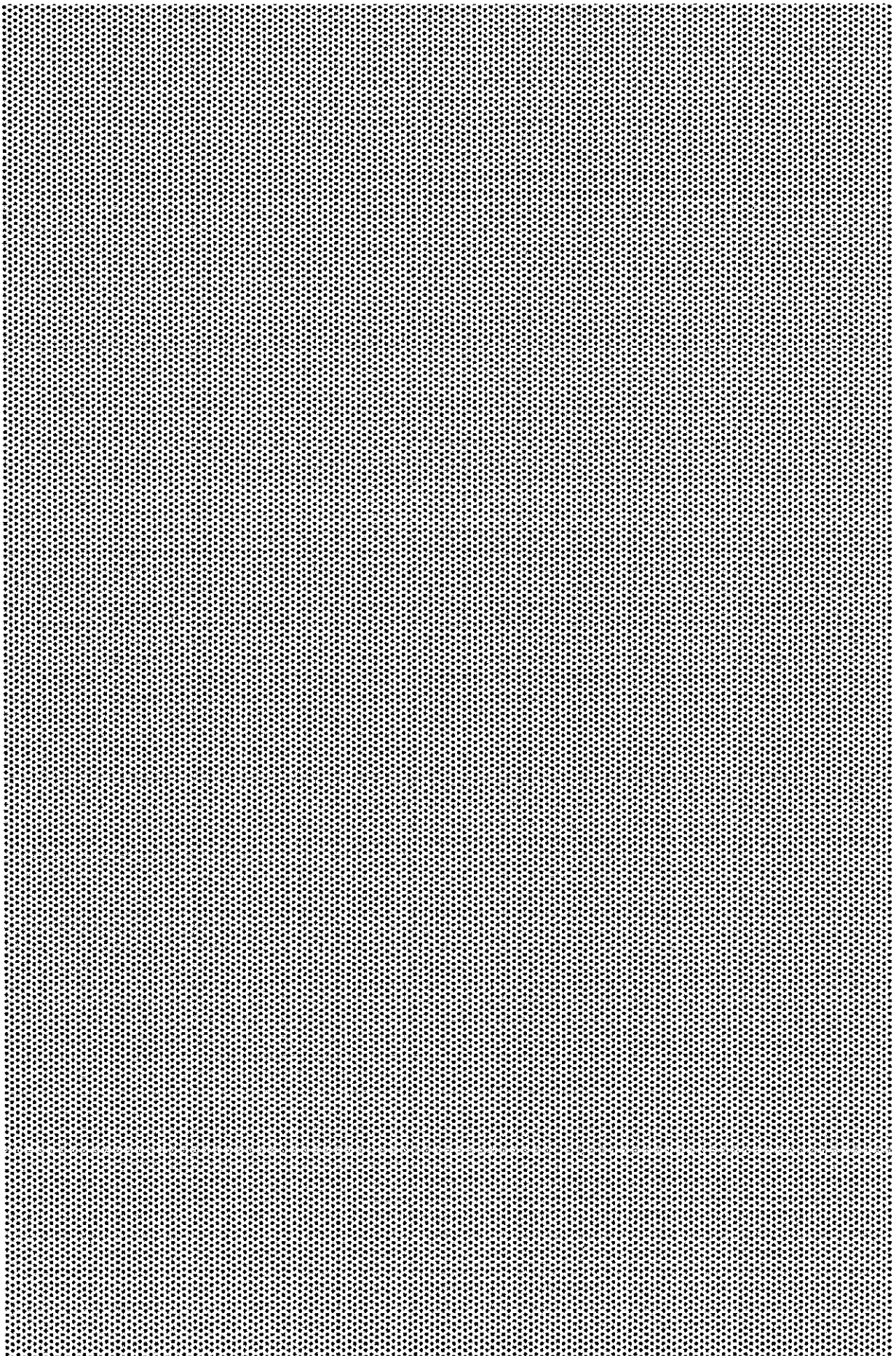




【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における「第2章 道徳教育の目標」に関する記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。（*は、中学校・特別支援学校中学部）

- ① 道徳科が目指すものは、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の目標と同様によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことである。
- ② 道徳科の指導の際には、特定の道徳的価値を絶対的なものとして指導したり、本来実感を伴って理解すべき道徳的価値のよさや大切さを観念的に理解させたりする学習に終始することのないように配慮することが大切である。
- ③ 児童（*生徒）が今後、様々な問題場面に出会った際に、その状況に応じて自己の生き方を考え、主体的な判断に基づいて道徳的実践を行うためには、道徳的価値の意義及びその大切さの理解が必要になる。
- ④ 自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うには、道徳的価値について理解する学習を欠くことはできない。
- ⑤ 道徳的実践意欲は、それぞれの場面において善悪を判断する能力である。つまり、人間として生きるために道徳的価値が大切なことを理解し、様々な状況下において人間としてどのように対処することが望まれるかを判断する力である。

- (2) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」に関する記述の一部である。（ア）～（ウ）にあてはまる適切な語句の組合わせを①～⑤から選び、番号で答えよ。

〈小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編〉

道徳科の指導体制を充実するための方策としては、まず、全てを学級担任任せにするのではなく、特に効果的と考えられる場合は、道徳科における実際の指導において他の教師などの協力を得ることが考えられる。校長や教頭などの参加による指導、他の教職員との（ア）などの協力的な指導、校長をはじめとする管理職や他の教員が自分の（イ）を生かした指導を行うことなど、学校の教職員が協力して指導に当たることができるような年間指導計画を工夫することなどを、学校としての方針の下に（ウ）が中心となって進めることが大切である。なお、校長等が授業に参加する際は、道徳科の特質を十分に理解して臨む必要がある。いずれの場合においても、授業にねらいをもたせ計画的に行われなければならない。

〈中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編〉

道徳科の指導体制を充実するための方策としては、全てを学級担任任せにするのではなく、特に効果的と考えられる場合は、道徳科の実際の指導において他の教師などの協力を得ることが考えられる。校長や教頭などの参加による指導、他の教職員との（ア）などの協力的な指導、校長をはじめとする管理職や他の教員が自分の（イ）を生かした指導などにより、学校の教職員が協力して指導に当たることができるような年間指導計画を工夫するなどを、学校としての方針の下に（ウ）が中心となって進めることが大切である。また、複数の教職員による学年全体での授業等も考えられる。なお、校長等が授業に参加する際は、道徳科の特質を十分に理解して臨む必要がある。いずれの場合においても、授業にねらいをもたせ計画的に行われなければならない。

- | | | |
|-------------------|----------|--------------|
| ① （ア） ティーム・ティーチング | （イ） 得意分野 | （ウ） 道徳教育推進教師 |
| ② （ア） ティーム・ティーチング | （イ） 経験 | （ウ） 管理職 |
| ③ （ア） ティーム・ティーチング | （イ） 経験 | （ウ） 道徳教育推進教師 |
| ④ （ア） 話し合い | （イ） 得意分野 | （ウ） 道徳教育推進教師 |
| ⑤ （ア） 話し合い | （イ） 経験 | （ウ） 管理職 |

- (3)「小学校(中学校)学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」(平成29年告示 文部科学省)「第3章 道徳科の内容」では、道徳教育の目標を達成するために指導すべき内容項目を、四つの視点から分類整理している。次の内容項目ア、イと四つの視点A～Dの正しい組合わせを①～⑤から選び、番号で答えよ。

内容項目

ア 家族愛、家庭生活の充実

イ 感動、畏敬の念

四つの視点

- A 主として自分自身に関すること
- B 主として人との関わりに関すること
- C 主として集団や社会との関わりに関すること
- D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること

- ① アーA イーB
- ② アーB イーA
- ③ アーB イーD
- ④ アーC イーA
- ⑤ アーC イーD

【2】 次の楽譜の曲について、下の問いに答えよ。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

(1) この曲の作曲者を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 林柳波 ② 岡野貞一 ③ 橋本国彦 ④ 船橋栄吉 ⑤ 草川信

4

(2) □㊸部の3番の歌詞を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① おどればさながら
② ストックかざして
③ やまこえおかこえ
④ とぶとぶおおぞら
⑤ こゆきはまいたち

5

(3) この曲の歌詞が表している内容として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 雪解けを迎えた雪国の春
- ② 四季それぞれの自然の美しさ
- ③ 馬ぞりに乗って、子供たちがそりすべりを楽しんでいる様子
- ④ スピードに乗って斜面を滑り降りる際に生まれる高揚感
- ⑤ 日中から日暮れにかけて移り変わる冬の情景

6

(4) 上記の楽譜に続く主旋律を①～⑤から選び、番号で答えよ。

①

②

③

④

⑤

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

7

(5) この曲の説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 7度や6度の跳躍を含んだフレーズが複数回繰り返されている。
- ② 歌詞には難解な言葉があるが、意味を理解することで情景が思い浮かびやすくなる。
- ③ a a' - b - a' の構成でできている。
- ④ 旋律のリズムの違いを捉えて、歌い方を工夫するのに適している。
- ⑤ 力強くのびのびとしたハーモニーを表現できる部分がある。

8

(6) この曲を用いて「情景を思い浮かべて歌おう」という学習目標を設定し、小学校で歌唱の授業を行う。

学習活動として適切でないものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- A 自然で無理のない声で歌うために、様々な調で歌うことを繰り返す。
- B 写真や映像を見て、歌詞に表された情景や気持ちを想像し、意見を出し合う。
- C 似た旋律や同じ旋律の再現を見付けたり、対照している全く違う旋律を見付けたりする。
- D 曲想と旋律との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりを理解し、各段をどのように歌うか自分の考えを書く。
- E 主旋律を何度か鍵盤楽器で演奏し、ト長調の楽譜を見て歌う技能を身に付ける。

① A・C ② A・E ③ B・C ④ C・D ⑤ D・E

【3】 次の楽譜の曲について、下の問いに答えよ。



(1) この曲の作詞者を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 吉丸一昌 ② 江間章子 ③ 武島羽衣 ④ 林古溪 ⑤ 土井晩翠

10

(2) この曲の2番～4番の歌詞の順番の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- A てんじょうかけはかわらねど えいこはうつるよのすがた
B いまこうじょうのよわのつき かわらぬひかりたがためぞ
C あきじんえいのしものいろ なきゆくかりのかずみせて

- ① A・B・C ② A・C・B ③ B・A・C ④ B・C・A ⑤ C・B・A

11

(3) この曲の作曲者が作曲した他の作品を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 早春賦 ② お正月 ③ 椰子の実 ④ めだかの学校 ⑤ 浜辺の歌

12

(4) この曲の歌詞の説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 「千代の松が枝」の意味は「古い松の枝」である。
② 城の「垣」には「つる草」が残っているという意味の歌詞がある。
③ 3番は作詞者が見ている今の城の様子を表現している。
④ 1番と4番は「むかしのひかり いまいずこ」で締めくくっている。
⑤ 作詞者は作詞にあたって「鶴ヶ城」や「青葉城」をイメージしたと述べている。

13

(5) 楽譜中の(ア)にあてはまる「速度—強弱」の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① Lento — *p* ② Lento — *mf* ③ Andante — *mf*
④ Andante — *mp* ⑤ Lento — *mp*

14

- (6) この曲は、後に山田耕筰によって補作編曲された。その楽譜の一部として、適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

①

②

③

④

⑤

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

15

- (7) この曲を用いて、「歌詞と旋律が生み出す雰囲気を味わいながら歌おう」という題材名で、中学校第2学年で歌唱の授業を行う。下の問いに答えよ。

(ア) 題材の目標として適切なものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- A 音楽表現の共通性や固有性について理解する。
- B 曲想と音楽の構造や背景などとの関わりについて理解する。
- C リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、歌唱表現を味わう。
- D 歌詞が表す情景や心情及び曲の表情や味わいに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組むとともに、諸外国で長く歌われている歌曲に親しむ。
- E 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。

① A・E ② B・C ③ C・D ④ B・D ⑤ B・E

16

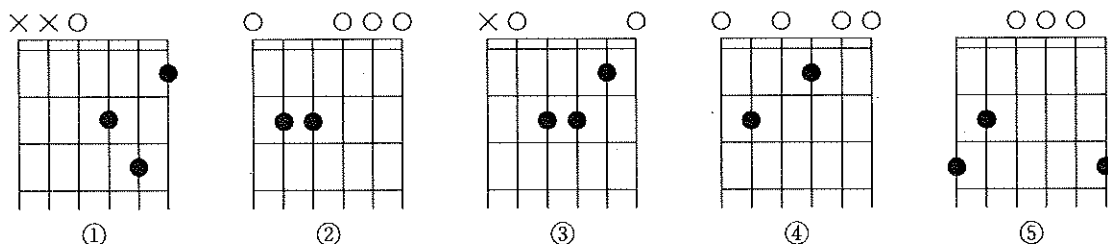
(イ) 学習活動として適切でないものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- A 歌詞を音読したり歌ったりして、歌詞の表す情景や心情、曲の雰囲気などについて感じたことをワークシートに記入する。
- B 曲を歌ったり聴いたりして、歌詞の内容や、速度、旋律、強弱などの音楽を形づくっている要素から知覚・感受したことをワークシートに記入する。
- C 曲想と歌詞の内容との関わりや、声部の役割と全体の響きとの関わりを生かした表現について振り返り、ワークシートに記入する。
- D 様々な発声法を身に付けるために、あらかじめ姿勢や呼吸法について練習する。
- E 思いや意図と、発声、言葉の発音、身体の使い方（呼吸法）などの技能との関係を意識しながら、グループや学級全体で歌う。

① A・B ② C・D ③ B・D ④ A・E ⑤ B・C

【4】 次の問いに答えよ。

(1) Dmのコードを演奏する際のダイアグラムを①～⑤から選び、番号で答えよ。



18

(2) ギターの構造についての説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① エレキギターにはフォークギターのものより硬い弦が用いられる。
- ② 弦のどの位置を弾いても均一な音色が得られる。
- ③ チューニングの際はヘッドにあるナットを回し、音高を調整する。
- ④ フォークギターはクラシックギターに比べてネックの幅が狭いが、ボディは少し大きい。
- ⑤ フィンガーボードには、フレットとブリッジがある。

19

(3) リコーダーについての説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 歌口の先の部分は、「リップ」と呼ばれている。
- ② アルトリコーダーより音域が2オクターヴ低い楽器は、グレートバスリコーダーである。
- ③ ピッチを下げたいときには、頭部管のみを抜くようにすると全体のピッチが安定する。
- ④ 現在では、すべてのサイズのリコーダーに「バロック式」と「ジャーマン式」がある。
- ⑤ 17世紀後半にジョイントのある形に改良され、ピッチの調整が可能となり、音域も広がった。

20

(4) リコーダーの奏法についての説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 息のスピードが速いと音高が上がり、遅いと音高が下がる。
- ② ソンレガート奏法とは、音を一度止めてから次の音のタンギングをする奏法である。
- ③ スラーの付いた最初の音でタンギングしたあと、息を出し続けながら運指だけを変える奏法をポルタート奏法という。
- ④ 発音したり音を止めたりする舌の動きをタンギングというが、舌は楽器に全く触れない。
- ⑤ サミングには指の関節を曲げて爪を立てる方法と、親指全体を少し下に滑らせる方法がある。

21

【5】 次の問いに答えよ。

**著作権保護の観点から
掲載いたしません。**

(1) 上記の楽譜の曲についての説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① この曲は、明治時代に作曲された。
- ② この曲は、三部形式である。
- ③ この曲は千葉県を旅した時に作曲者が感じ取った海辺の印象を、標題音楽風に描写したものだと言われている。
- ④ この曲を演奏するときの箏の調弦は、「平調子」である。
- ⑤ 現在ではこの曲は箏の代わりにフルートやヴァイオリン、尺八の代わりにピアノやハープで演奏されることもあり、器楽曲として広く国際的に知られている。

22

(2) 上記の楽譜の曲の作曲者についての説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 十七絃や六十絃などの楽器を考案した。
- ② 吉田晴風、本居長世らとともに「新日本音楽」という活動を起こした。
- ③ 7歳で失明し、9歳から箏を始めた。
- ④ 初めての作品は「水の変態」という箏曲である。
- ⑤ 雅楽や西洋音楽を取り入れながら、新しい作品づくりを試みた。

23

(3) 上記の楽譜から始まる部分についての説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 常に尺八が主旋律で箏が伴奏の形態で演奏される。
- ② 尺八がのびやかに演奏できるよう、Tempo Rubatoの表示がある。
- ③ 春ののどかな海辺や嵐の海、ゆるやかな波や荒れ狂う波など、多彩な海の様子が表現されている。
- ④ この部分の終わりは、小さな終結部をつくって、ひとまず落ち着く。
- ⑤ この部分の中で、緩・急・緩の速度の変化がおこる。

24

(4) 上記の楽譜の曲を用いて、「日本の楽器の音色を味わおう」という題材名で小学校6年生で鑑賞の授業を行う。題材の目標として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 音やフレーズのつなげ方の特徴について、それらの生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解するとともに、思いや意図に合った表現をするために必要な、音楽の仕組みを用いて音楽を聴く技能を身に付ける。
- ② 調や和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさを感じ取りながら、聴き取ったこととと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する。
- ③ 音楽を形づくっている要素及びそれらに関わる音符、休符、記号や用語について理解する。
- ④ 長調と短調の響きの違いに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組み、日本の音楽に親しむ。
- ⑤ 曲想と旋律や音色など音楽の構造との関わりについて理解する。

(5) 箏について、下の問いに答えよ。

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

(ア) 次の文の () にあてはまる語句と、その語句が示す部位について、適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

中指と人さし指については、糸の向こう側から手前に向かって爪を押し付けるようにして弾き、次の糸に当てて止めます。() の左側のところを目安に、角爪の場合は爪の角、丸爪の場合は爪の先で弾きます。

	語句	部位
①	四分六	E
②	竜角	A
③	竜甲	C
④	雲角	D
⑤	磯	B

26

(イ) 次の文で説明される奏法として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

親指と中指で同時に2本の糸を弾く奏法。弾いたあとはそれぞれ次の糸に当てて止める。2本の糸の首程は、1オクターヴ、5度、4度などがある。

① 割り爪 ② 合せ爪 ③ かき爪 ④ 押放 ⑤ 押し手

27

(6) 尺八について、下の問いに答えよ。

(ア) 次の文の (A)、(B) にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

江戸時代には、宗教的な修行の一つとして、(A) と呼ばれる人たちが演奏していました。明治時代になると一般の人たちも演奏するようになり、箏や三味線との合奏も盛んになりました。現在では、独奏や重奏、(B) などの他、民謡の伴奏にも用いられています。

- ① A 虚無僧 B 文楽
- ② A 座頭 B 能・狂言
- ③ A 虚無僧 B 能・狂言
- ④ A 座頭 B 三曲合奏
- ⑤ A 虚無僧 B 三曲合奏

28

(イ) 次の文で説明される奏法として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

舌、または喉を震わせながら吹く。

- ① スリ上げ ② コロコロ ③ タマネ ④ メリ ⑤ カリ

29

【6】 次の楽譜の曲について、下の問いに答えよ。

速く (ア)

(1) この曲の作詞者を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① シラー ② ハイネ ③ ミュラー ④ メーリケ ⑤ ゲーテ

30

(2) (ア) にふさわしい速度表示として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ♩=120 ② ♩=152 ③ ♩=180 ④ ♩=132 ⑤ ♩=208

31

- (3) 次の歌詞（大木惇夫・伊藤武雄 日本語詞）が歌われる箇所に該当するピアノの伴奏を①～⑤から選び、番号で答えよ。

著作権保護の観点から掲載いたしません。

①

②

③

④

⑤

(4) リートについての説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 「リート」の名が用いられ始めたのは、中世の吟遊詩人のころである。
- ② バッハやヘンデル、ハイドンもわずかな曲数ではあるが、リートを作曲している。
- ③ ヴェルディと並んで、この曲の作曲者が「ドイツ・リート」史上の頂点をなしている。
- ④ リートは有節歌曲から連作歌曲へと発展していった。
- ⑤ この曲の作曲者によるリートは、歌とピアノが一体となり詩の内容やイメージを巧みに表現している。

33

(5) この曲で次の楽譜の部分が演奏される正しい順番を①～⑤から選び、番号で答えよ。

A

B

C

D

E

- ① A→B→C→D→E
- ② A→C→B→D→E
- ③ B→C→A→D→E
- ④ B→D→C→A→E
- ⑤ C→B→D→A→E

34

(6) この曲を用いて、「曲想と音楽の特徴との関わりを感じ取って聴こう」という学習目標を設定し、中学校で鑑賞の授業を行う。学習活動として適切なものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- A 歌詞の内容や旋律の動きと強弱との関わりを意識し、ふさわしい音楽表現について創意工夫し、気付いたことや表現の工夫についてワークシートに記入する。
- B この曲を場面ごとに細かく区切って調性や曲の構造について聴き取り、同じような構成の曲を創作し、形式についての理解を深める。
- C 詩の内容を表現するために作曲者が行った表現の工夫について自分なりに考え、ワークシートにまとめ、曲に対する評価とその根拠について交流する。
- D 発声方法や表情、ハーモニーなどを工夫しながら主旋律を「ラ」で歌い、登場人物ごとの曲の雰囲気の変化について感じ取ったことをワークシートに記入する。
- E 音色や音の高さなどに注目しながら、語り手と登場人物それぞれの部分がどのように表現されているのかを聴き取り、ワークシートに記入して意見交流する。

① A・C

② B・E

③ C・E

④ A・D

⑤ B・C

【7】 次の問いに答えよ。

- (1) 次の文の () にあてはまる語句として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

雅楽は日本の伝統芸能で、アジア各地から伝えられた音楽や舞を起源とするものや、日本古来の歌や舞、さらに平安時代に日本でつくられた歌があり、10世紀頃に現在の形がほぼ完成した。
「陵王」は、現在でも最もよく上演される () である。

- ① 舞楽 ② 管絃 ③ 催馬楽 ④ 朗詠 ⑤ 国風歌舞

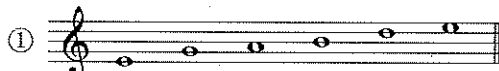
36

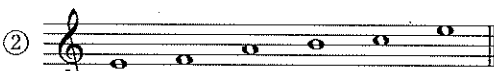
- (2) 雅楽で用いられる楽器についての説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

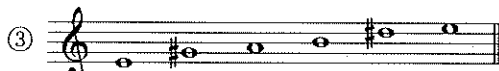
- ① 箏箏は「芦舌」を用いる縦笛で、その音色は「地上の人の声」にたとえられることがある。
② 楽箏は俗箏に比べて落ち着いた音色をもち、リズムセクションを担当する。
③ 竜笛は竹製の横笛で、唐楽の曲では音取を除くと、竜笛のソロから演奏が始まる。
④ 鞆鼓は打物の一つで、音楽の区切りを知らせる役割をもつ。
⑤ 笙は5～6音からなる和音を演奏し、その音色は「天から差し込む光」にたとえられることがある。

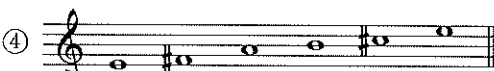
37

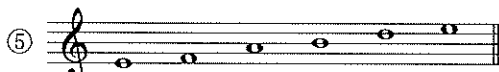
- (3) 「都節音階」の楽譜として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

① 

② 

③ 

④ 

⑤ 

38

- (4) 「踊り歌」に分類される日本の民謡として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 草津節 ② 会津磐梯山 ③ 八木節 ④ 佐渡おけさ ⑤ こきりこ

39

- (5) 「南部牛追唄」の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① コブシを使った節回しが特徴的で、多くの場合、伴奏には三味線が用いられる。
② 「江差追分」と同じ「仕事歌」である。
③ 宮城県の民謡である。
④ 歌の合間に入る囃子詞は、「バーバーバー」などである。
⑤ 「八木節」と同じ「追分様式」に分類される。

40

【8】 民俗音楽に関する各問いに答えよ。

(1) 次の文を読み、下の問いに答えよ。

儀礼や祭りに参列者もうたや舞踊で参加するなど、音と言葉と踊りが一体となり、人々の生活と密接にかかわって豊かな音楽文化が生み出されてきた。楽器はとりわけ太鼓が発達し、遠隔地との意思疎通を図るために用いられるものもある。

(ア) この文が説明する地域として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 東アジア ② 東南アジア ③ ヨーロッパ ④ オセアニア ⑤ アフリカ

41

(イ) 文中の下線部に関係する楽器として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ギング ② スティールパン ③ トーキングドラム
④ グラブッカ ⑤ デイジェリドゥ

42

(2) 次の文の示す地域として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

先住民族と15世紀から流入してきたヨーロッパ系民族、アフリカ系住民による融合した文化が多く見られる。先住民の音楽とヨーロッパ系音楽が融合したものに、フォルクローレがある。

- ① 西アジア ② 南アジア ③ 中央アジア ④ 中南米 ⑤ 北米

43

(3) 次の文の () にあてはまる語句として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

東南アジアの音楽構造の特徴として、一定のリズム型や旋律型の反復と変化を基礎とする例が多い。
2人1組で奏する () のリズムも特徴的である。

- ① ドローン ② インターロッキング ③ ラーガ ④ コールアンドレスポンス
⑤ オステイナー

44

(4) 「ヨーデル」の説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 旋律を歌うソロのパートと、持続音を歌うボルドゥンと呼ばれるパートに分かれる。
② 低い声を持続的に出し、それを口の中で共鳴させて倍音を響かせる。
③ 喉を鳴らして歌う。二人が向かい合い、高い音と低い音を交互に出す。
④ 裏声と地声を交替させて歌う。伝統的なものは歌詞をもたない。
⑤ 一つの旋律を1拍か数拍ずらしながら次々と歌い継いで多声的な音響をつくる。

45

【9】 次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は、「小学校学習指導要領」(平成29年3月文部科学省)における「第2章 第6節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の「2 内容の取扱い」(1)に関する記述の一部である。()にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 音楽によって喚起されたイメージや感情、音楽表現に対する思いや意図、音楽を聴いて感じ取ったことや想像したことなどを伝え合い共感するなど、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた()を適切に位置付けられるよう指導を工夫すること。

- ① 音楽活動 ② 学習活動 ③ 言語活動 ④ 表現活動 ⑤ 特別活動

46

- (2) 「小学校学習指導要領」(平成29年3月文部科学省)における「第2章 第6節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」において、[共通事項]に示される「音楽を形づくっている要素」として挙げられていないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 速度 ② 音の重なり ③ 問いとこたえ ④ 反復 ⑤ 音楽の縦と横との関係

47

- (3) 次の文は、「中学校学習指導要領」(平成29年3月文部科学省)における「第2章 第5節 音楽 第2 各学年の目標及び内容 第2学年及び第3学年 2 内容 A 表現」に関する記述の一部である。歌唱についての記述として適切でないものを下線部①～⑤から選び、番号で答えよ。

- (1) 歌唱の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ア ①歌唱表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫すること。

イ 次の(ア)及び(イ)について理解すること。

(ア) ②曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わり

(イ) ③声の音色や響き及び言葉の特性との関わり

ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) ④創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能

(イ) ⑤創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能

48

- (4) 次の文は「中学校学習指導要領」(平成29年3月文部科学省)における「第2章 第5節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」の「2 内容の取扱い」(8)に関する記述の一部である。()にあてはまる適切なものをそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア 鑑賞教材は、我が国や郷土の伝統音楽を含む我が国及び諸外国の様々な音楽のうち、()に照らして適切なものを取り扱うこと。

- ① 地域の実態 ② 学年の目標 ③ 教科の目標 ④ 生徒の実態 ⑤ 指導のねらい

49

イ 第1学年では言葉で説明したり、第2学年及び第3学年では()したりする活動を取り入れ、曲や演奏に対する評価やその根拠を明らかにできるよう指導を工夫すること。

- ① 演奏 ② 解説 ③ 比較 ④ 批評 ⑤ 創作

50

- (5) 「高等学校学習指導要領」(平成30年3月文部科学省)における「第2章 第7節 芸術 第1 音楽 I 3 内容の取扱い」に関する記述の一部である。()にあてはまる適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

(11) 自己や他者の著作物及びそれらの作者の()を尊重する態度の形成を図るとともに、必要に応じて、音楽に関する知的財産権について触れるようにする。また、こうした態度の形成が、音楽文化の継承、発展、創造を支えていることへの理解につながるよう配慮する。

- ① 権利 ② 著作権 ③ 利益 ④ 財産 ⑤ 創造性

51

【10】 次の問いに答えよ。

(1) 次の文の時代に作曲された曲として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

啓蒙主義に対する反動から、理性よりも感情が重んじられ、心の内面を自由に表現することが追求された。そのため楽曲の形式や和声が多様化し、作曲家の個性が作品に強く表出されるようになった。



52

(2) 次の文の下線部の音楽を何と呼ぶか。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

キリスト教の普及とともに声楽を中心とした教会音楽が栄えた。この時代には、教会に仕えていた修道士達が主に作曲を行った。彼らは、単旋律のグレゴリオ聖歌に新たな声部を加えることで多声音楽を生み出した。

- ① オルガヌム ② ネウマ ③ トルバドゥール ④ モノディー ⑤ テトラコルド

53

(3) 次の文の時代の作曲家として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

無調への傾向が強まり、時代に共通する様式はなくなった。音素材への関心から環境音や電子音が取り入れられ、音楽という概念への投げかけから偶然性・不確定性の音楽が創造されるなど、さまざまな形で新しい音楽が追求された。

- ① ケージ ② デュファイ ③ シューンベルク ④ ヴェーベルン ⑤ メシアン

54

(4) 次の文の () にあてはまる語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

音楽は祭儀や娯楽など生活の様々な場面で大事な役割を果たしてきた。劇の中では () が演奏、祭典では管楽器のアウロスや弦楽器のキトラといった楽器が使われた。宇宙観や数学と結びつけた音楽の理論が著され、哲学者プラトンらは音楽が魂や感情に作用する力について記している。

- ① コロス ② ムーサ ③ オルケストラ ④ ハルモニア ⑤ ムーシケー

55

(5) 次の文の時代に関係する事柄として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

均整美を追求した芸術観からの逸脱が試みられ、躍動感や人間の情緒などが重視された。音楽様式においては、ポリフォニックな音楽の成熟とホモフォニックな音楽の芽生えがみられた。宮廷での演奏が盛んになったことも特徴である。

- ① ピアノが鍵盤楽器の中心となった。
② モノディー様式の歌曲が生まれた。
③ キャラクターピースが多く作られた。
④ 大規模な編成による長大な管弦楽曲が作られた。
⑤ ノートルダム楽派の作曲家が活躍した。

56

(6) 次の文の時代と関係しない語句を①～⑤から選び、番号で答えよ。

民族性や国民性を反映した音楽が生み出された。和声の複雑化に伴って調性の曖昧な音楽が増え、音楽美に対する新たな価値観が芽生え始めた。

- ① 神秘思想 ② ロシア五人組 ③ 印象主義 ④ ロマンティック・バレエ
⑤ トータル・セリー

57

(7) 次の文の時代に作曲された曲として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

啓蒙思想の影響から、芸術においても調和や形式美が追求された。演奏の場が次第に市民へと開かれ、作曲家達は自由に活動するようになっていった。

①

②

③

④

⑤

著作権保護の観点から
掲載いたしません。

【11】 次の楽譜を見て各問に答えよ。

(1) (ア) で示された 2 音の音程の転回音程を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 減 4 度 ② 完全 4 度 ③ 増 4 度 ④ 完全 5 度 ⑤ 減 5 度

59

(2) (イ) の部分の和音を表すコードネームを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① $F\#_7$ ② $F\#sus_4$ ③ $F\#m_7$ ④ $F\#M_7$ ⑤ $F\#\dim_7$

60

(3) (ウ) の部分の調性を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① D-dur ② d-moll ③ H-dur ④ h-moll ⑤ e-moll

61

(4) (エ) の部分の調性は、この曲の主調から見てどのような関係か。適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 属調 ② 下屬調 ③ 平行調 ④ 同主調 ⑤ 同主調の下屬調

62

(5) この楽譜を冒頭から 6 小節間を 16 秒で演奏するのに適切な速度を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① $\text{♩} = 72$ ② $\text{♩} = 88$ ③ $\text{♩} = 90$ ④ $\text{♩} = 92$ ⑤ $\text{♩} = 100$

63

【12】 次の問いに答えよ。

(1) 下の条件で旋律を創作した。条件を正しく満たしていない旋律を①～⑤から選び、番号で答えよ。

条件1 使用する和音は1小節につき1つとし、第1小節から順に $I \rightarrow IV \rightarrow \frac{V}{V_7} \rightarrow V$ とする。

条件2 非和声音は、経過音、刺繍音のみ使用可能とする。



64

(2)「音の特徴や重なりを感じてリズムアンサンブルをつくろう」という題材名で、反復、変化、対照を用いて構成を工夫してボディーパーカッションによるリズムアンサンブルをつくる創作の授業を中学校で行う。指導上の留意点として適切なものの組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

A 音素材の特徴については詳しい資料を配付して説明し、様々な音の出し方についての知識を増やすようにする。

B 表したいイメージをもち、音色の特徴を生かして個人でリズムパターンをつくった後、ペアでリズムアンサンブルの構成を考える学習活動を設定する。

C 拍子、調、小節数などの条件をあらかじめ設定しておく。

D 創作活動を始める前にリズムの重なり方にふさわしい音の出し方を見付ける学習活動を設定し、ペアやグループでいろいろなパターンの音の出し方を試すよう促す。

E 学級全体で発表を行って、創意工夫を生かした演奏表現をするために必要な技能を評価した後、活動の振り返りをワークシートに書きさせる場面を設定する。

- ① $A \cdot B$ ② $A \cdot C$ ③ $C \cdot E$ ④ $B \cdot D$ ⑤ $D \cdot E$

65

中高音楽

正答・配点一覧表案

問番号 (全 65 問)		正答	配点
午前【1】(1)	1	⑤	2
(2)	2	①	2
(3)	3	⑤	2
【2】(1)	4	③	1
(2)	5	①	1
(3)	6	④	1
(4)	7	②	2
(5)	8	③	2
(6)	9	②	2
【3】(1)	10	⑤	1
(2)	11	⑤	1
(3)	12	②	1
(4)	13	④	1
(5)	14	③	2
(6)	15	④	2
(7) (ア)	16	⑤	2
(7) (イ)	17	②	2
【4】(1)	18	①	2
(2)	19	④	2
(3)	20	⑤	2
(4)	21	③	2
【5】(1)	22	②	2
(2)	23	①	2
(3)	24	④	2
(4)	25	⑤	2
(5) (ア)	26	①	2
(5) (イ)	27	②	2
(6) (ア)	28	⑤	2
(6) (イ)	29	③	2
【6】(1)	30	⑤	1

(2)	31	②	2
(3)	32	③	2
(4)	33	③	2
(5)	34	④	2
(6)	35	③	2
【7】(1)	36	①	2
(2)	37	④	2
(3)	38	②	2
(4)	39	①	2
(5)	40	④	2
【8】(1)(ア)	41	⑤	1
(1)(イ)	42	③	1
(2)	43	④	2
(3)	44	②	2
(4)	45	④	2
【9】(1)	46	③	2
(2)	47	③	2
(3)	48	③	2
(4)	49	⑤	2
	50	④	2
(5)	51	⑤	2
【10】(1)	52	④	2
(2)	53	①	2
(3)	54	②	2
(4)	55	①	2
(5)	56	②	2
(6)	57	⑤	2
(7)	58	②	2
【11】(1)	59	④	2
(2)	60	①	2
(3)	61	①	2
(4)	62	②	2
(5)	63	③	2
【12】(1)	64	②	2

(2)	65	④	2
-------	----	---	---